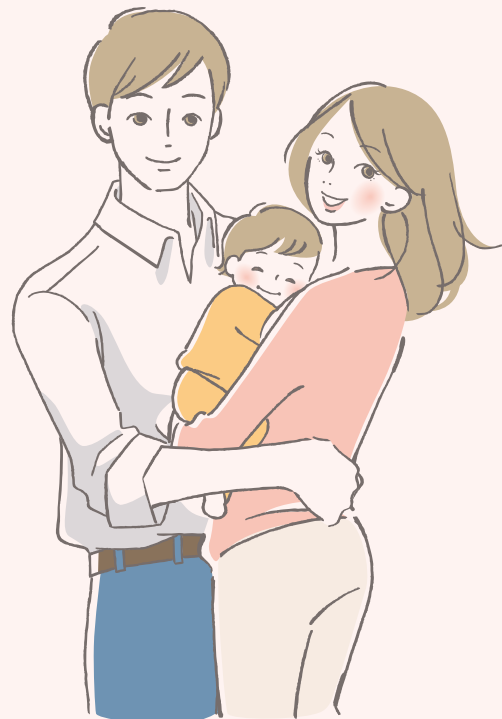


将来子どもを産み育てることを望む 小児・思春期、若年成人世代の がん患者さん等へ



にん よう せい

妊孕性温存療法等に係る費用を助成します

がん治療の内容によっては、主に卵巣、精巣等の機能に影響を及ぼし、
妊孕性（妊娠するための力）が低下することが知られています。

富山県では、将来子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん患者さん等に希望をもってがん治療等に取り組んでいただくため、生殖機能に影響を与える恐れのある治療等を開始する前に行う卵子や精子の凍結等の妊孕性温存療法や同治療により凍結した検体を用いた温存後生殖補助医療の費用の一部を助成します。

対象となる医療① 妊孕性温存療法

対 象 治 療	1回あたりの助成上限額	助 成 回 数
胚（受精卵）凍 結	35万円	2 回まで
未 授 精 卵 子 凍 結	20万円	2 回まで
卵 巣 組 織 凍 結	40万円	2 回まで
精 子 凍 結	2万5千円	2 回まで
精子凍結（精巣内精子採取術）	35万円	2 回まで

対象となる医療② 温存後生殖補助医療

対 象 治 療	1回あたりの助成上限額	助 成 回 数
妊孕性温存療法で凍結した胚（受精卵）を用いた生殖補助医療	10万円	6 回まで (40歳以上43歳未満は3回まで)
妊孕性温存療法で凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療	25万円 ※1	
妊孕性温存療法で凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療	30万円 ※1～4	
妊孕性温存療法で凍結した精子を用いた生殖補助医療	30万円 ※1～4	

※1 以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施する場合は10万円
 ※2 人工授精を実施する場合は1万円
 ※3 採卵したが卵が得られない、又は状態の良い卵が得られないため中止した場合は10万円
 ※4 卵胞が発達しない、又は排卵終了のため中止した場合及び排卵準備中、体調不良等により治療中止した場合は対象外

- 治療費用の助成には条件があります。詳しくは富山県のホームページをご覧ください。

富山県 妊孕性温存療法

検索



URL : <https://www.pref.toyama.jp/120501/kurashi/kenkou/iryou/ninyoseionzonjyosei.html>

- がん等の治療を最優先に行う必要があるため、対象とならない場合があります。

がん等の治療を開始する前に主治医と相談し、生殖医療を専門とする医師から十分に説明を受け、患者さん（及びその家族の方）が納得した上で妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療を受けてください。

問合せ先

富山県厚生部健康対策室 健康課 がん対策推進担当 〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
 電 話 : 076-444-3224
 受付時間 : 平日（月曜から金曜（祝日、年末年始を除く））8時30分～17時15分